

第119期

中間期

株主通信

2024年1月1日 ▶ 2024年6月30日

日東精工株式会社

NITTOSEIKO

証券コード：5957

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第119期 中間連結会計期間（2024年1月1日から2024年6月30日まで）における概要をご報告申し上げます。

代表取締役社長兼COO 荒賀 誠



経営理念の継承と事業の深化をもって企業価値の向上に努めてまいります。

当中間連結会計期間における世界経済は、大幅な減速を回避し、緩やかながらも成長軌道への回復傾向にあるものの、ウクライナや中東における紛争の長期化による政情不安やエネルギー価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続きました。わが国においては、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響などからマイナス成長に転じましたが、段階的に正常化しており、先行きは内需主導の成長軌道に復すると予測されています。また2024年春闘における賃上げ率上昇により、個人消費の拡大から景気の持ち直しが予想されています。

このような経営環境において、当社は、長期経営ビジョン“世界中で認められ、求められる「モノづくりソリューショングループ」を目指す”のセカンドステージとして、持続可能な成長重視の4つの戦略（事業拡大戦略・環境戦略・人財戦略・財務戦略）を掲げた中期経営計画「Mission G-second（2023年～2025年）」を推進しており、特に当期は環境戦略に関連する事業が伸長しました。展示会への積極的な参加による技術力のアピールや、市場への新製品の投入を実施すると同時に、浴

劑リサイクル分野における環境課題解決事業のキックオフ、アジア市場における事業拡大を見込んだインドの部品メーカーの子会社化を決定するなど精力的に取り組みました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は223億9千4百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は14億9千4百万円（前年同期比15.1%増）、経常利益は16億1千万円（前年同期比9.0%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は10億7百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

今後も既存製品の販売促進や新製品の開発を加速していくとともに、環境戦略の推進、インド市場の開拓、医療機器分野への継続した取り組みに引き続き注力していきます。

当社グループは、「我らの信条」の社是の下で一層の努力をし、世界中のお客様やステークホルダーのみなさまに評価をされ、頼りにされるグループになることを目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも倍旧のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

売上高

22,394百万円

前年同期比 -0.2%

営業利益

1,494百万円

前年同期比 +15.1%

親会社株主に
帰属する
中間純利益

1,007百万円

前年同期比 +20.8%

グローバルサイトを開設しました

2024年7月1日に、グローバルサイトを開設しました。

(URL : <https://global.nittoseiko.com>)

本サイトは、英語での情報発信を強化するとともに、日本を含む各地域のサイトへのナビゲーションを行うハブとしての役割を担います。

長期経営ビジョン“世界中で認められ、求められる「モノづくりソリューショングループ」を目指す”の達成に向けて、世界中のステークホルダーのみなさまに当社グループへの理解を一層深めていただけるよう、さらなる情報発信に努めてまいります。



ファスナー事業

売上高 **16,038** 百万円 ↓
前年同期比 **1.4% DOWN**

- ・自動車のCASE関連の受注は堅調。
- ・ゲーム機市場の巣ごもり需要が一巡し、精密ねじの売上が減少。

産機事業

売上高 **3,138** 百万円 ↓
前年同期比 **9.1% DOWN**

- ・自動車のCASE関連向けのねじ締め機の受注は増加傾向の一方で、電機・電子部品向けは昨年の大型受注の反動で売上減少。
- ・海外では、米国・タイでの需要が低迷。

制御事業

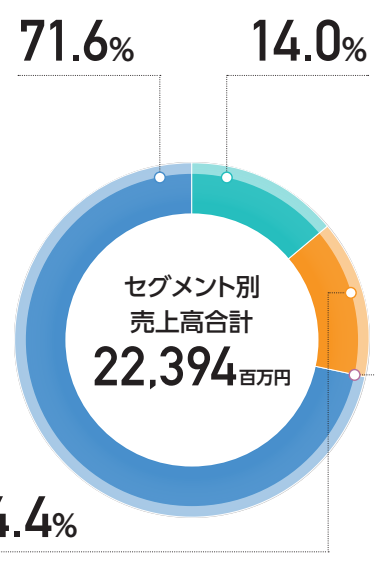
売上高 **3,212** 百万円 ↑
前年同期比 **18.1% UP**

- ・エネルギー業界向けの分析装置、環境関連では元素計や自動粉体装置の受注が好調。
- ・システム製品は自動車業界向けの検査装置の需要が増加したものの、地盤調査機「ジオカルテ」は、住宅需要の低迷により低調に推移。

メディカル事業

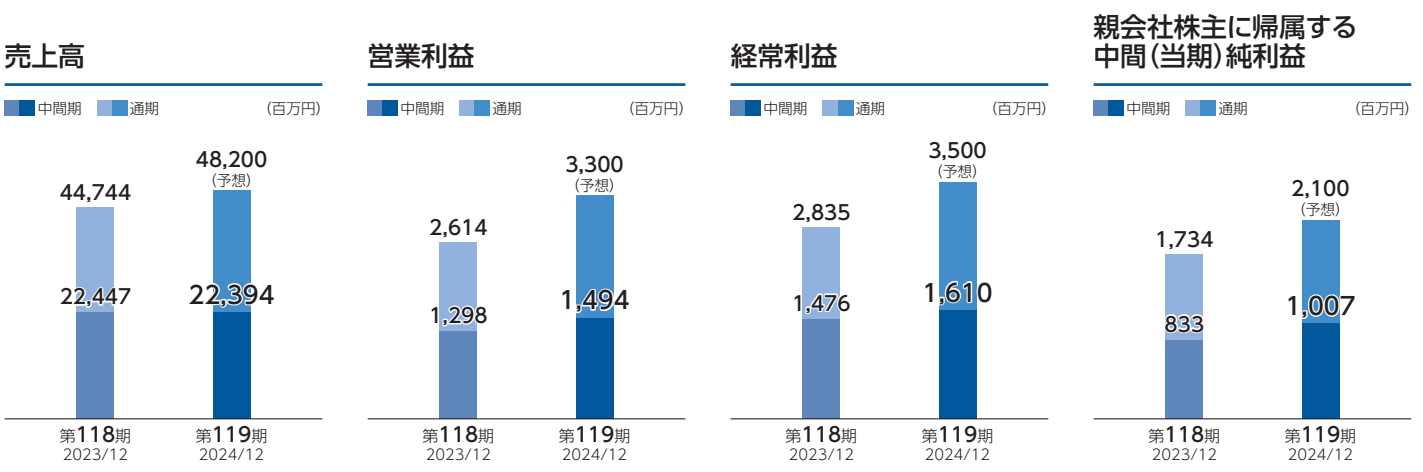
売上高 **5** 百万円 ↓
前年同期比 **55.4% DOWN**

- ・「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム材料」の米国特許取得。
- ・一貫製造設備の整備、医療用製品販売に向けた特許認可取得の準備など、上市に向けた取り組みを継続中。

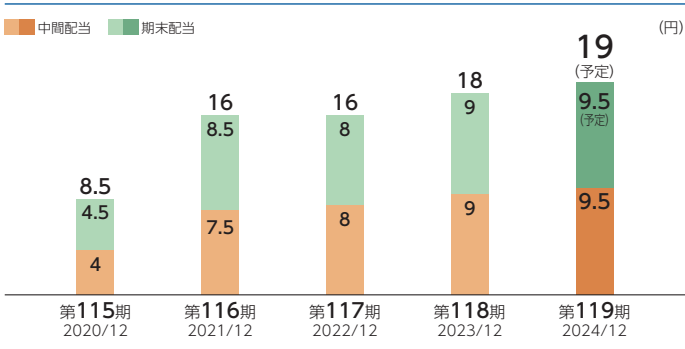


連結財務ハイライト

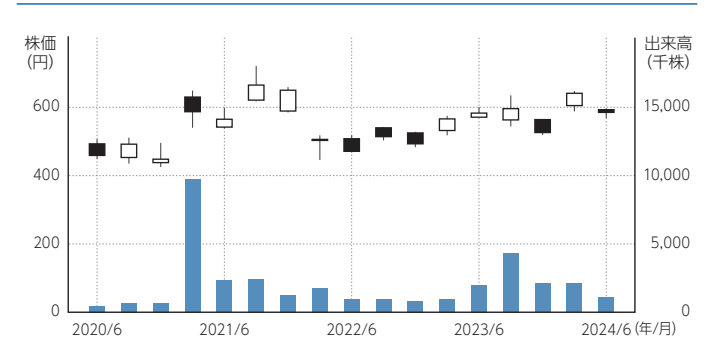
CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS



1株当たり配当金の推移



株価チャート



事業拡大戦略

インドの冷間圧造部品メーカー『Vulcan グループ』を子会社化

2月にインドのVulcan Forge Private Limitedと株式譲渡契約を締結し、Vulcan Forge Private Limitedおよびその子会社であるVulcan Cold Forge Private Limitedを100%子会社化することを発表しました。

首都デリー近郊のハリヤーナー州グルグラム(旧称グルガオン)に本社を構え、ハリドワールと合わせて2工場を有する同社は、難易度の高い製品を自社開発で製造できる強みを持ち、日系・非日系の両方に幅広い顧客基盤を有しています。

経済成長が大いに期待されるインド市場での自動車・二輪車業界に幅広く市場参入し、当社グループの更なる販売力と製品力の強化に繋げ、成長を加速させてまいります。



環境戦略

イーセップ株式会社との共同開発

6月にイーセップ株式会社と共同開発契約を締結し、当社制御システム事業部門が保有する「プラント製作・流体制御・防爆」技術とイーセップ社が保有する「ナノセラミック分離膜」技術という両者の強みを融合させた「防爆型有機溶剤リサイクル装置」の開発に着手し、新事業を創出します。

化学工場における生成物の分離精製プロセスでは、大量のCO₂が排出されます。このような中、有機溶剤を用いたリサイクル過程で排出されるCO₂の削減に着目し、2023年8月に業務提携を行い、製品開発の準備を進めてきました。化学産業分野におけるCO₂排出量のうち、蒸留工程で約40%ものエネルギーを消費(経済産業省調べ)しており、本製品の実用化により50%削減を目指します。

京都・綾部から世界へ、カーボン・ニュートラル社会の実現を支援してまいります。



人材戦略

健康経営のための取り組みを継続中

当社はこれまでから様々な健康経営の取り組みを実施しています。昨年から引き続き経済産業省が主幹する健康認定制度「健康経営優良法人ホワイト500」「健康優良法人ブライト500」およびスポーツ庁の「スポーツエールカンパニー2024」の認定を受けています。特に今年度は「京都健康づくり実践企業」において、当社の長年の健康づくりへの取り組みが評価され最優秀賞を受賞しました。また、京都府の妊娠・出産・子育て支援情報ポータルサイト「きょうと子育てピアサポートセンター」では、「子育てに優しい職場環境づくりに取り組んでいる京都府内企業」として紹介いただいています。これからもより働きやすい環境づくりを行っていくとともに、教育単位制度などを活用した、従業員一人ひとりの能力の最大化による労働生産性向上にも力を入れてまいります。



財務戦略

工場見学会・企業説明会を実施しました

当社グループの事業内容を理解いただけるよう、定期的にIR説明会を開催しており、4月には地元の個人投資家向け企業説明会を舞鶴市で開催しました。また、それに先立ち工場見学会を開催し、大阪や東京から投資家の方々に綾部まで足をお運びいただき、全工場を見学いただきました。当社のモノづくりを直接目で見ていただくことで、当社事業への理解をより深めていただくことができました。

また、当社OB・OGの方々に、当社事業の成長戦略を深くご理解いただき、さらに応援いただければという思いから、6月に会社説明会&工場見学会を開催しました。

今後も企業価値をさらに向上させるため、資本市場との対話の拡充と深化を進めてまいります。



トピックス

MPM創立30周年

マレーシアの連結子会社であるMALAYSIAN PRECISION MANUFACTURING SDN.BHD. (MPM社)が創立30周年を迎え、4月18日に記念式典を開催しました。MPM社は1994年1月の設立以来、工業用ファスナーの総合メーカーと幅広い商品を取り扱う総合商社としての両面の優位点を活かし、事業運営を行っています。今後、QCDを含めたお客様対応力を高め、自動車業界へのシフトに注力するとともに、自動組立機械(ねじ締め機)などの取扱いを広げ、より一層の事業拡大を図っていきます。



ねじの日企画 壁画イベント

当社では6月1日の「ねじの日」にこれまでさまざまな取り組みを行ってきました。本年は、地元綾部高校の美術部とコラボしたイベントを実施。当社本社工場の塀壁(高校生の通学路にあたり、また山陰本線の線路沿いなので列車の窓からも眺められる好スペース)をキャンパスにして大きな作品・ウォールアートを部員の皆さんに描いていただきました。デザインのテーマは「ねじ」が持つ役割である「つなぐ」。このウォールアートが、地域の方々が憩える新しいアートスポットになることを願っています。



会社概要

社名 日東精工株式会社 (NITTOSEIKO CO., LTD.)
 本社所在地 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地
 設立年月日 1938年2月25日
 資本金 3,522,580,100円
 従業員数 連結 1,905名 単体 525名
 主な事業内容 各種工業用ファスナーの製造販売
 各種自動組立機の製造販売
 各種流量計および検査装置の製造販売
 各種医療機器の製造販売

取締役、監査役および執行役員

代表取締役会長 兼 CEO	材木正己	監査役(常勤)	北谷明
代表取締役社長 兼 COO	荒賀誠	監査役(社外)	森田真一郎
取締役 常務執行役員	山添重博	監査役(社外)	仲雅彦
取締役 執行役員	上嶋伸宏	執行役員	石原雅和
取締役 執行役員	松本真一	執行役員	小雲康弘
取締役 執行役員	浅井基樹	執行役員	桐村和也
取締役(社外)	塩見満	執行役員	上原規
取締役(社外)	平尾一之		
取締役(社外)	勝見九重		

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 毎年3月下旬
 基準日 定時株主総会・期末配当 毎年12月31日
 中間配当 毎年6月30日
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 特別口座の
 口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
 受付時間 9:00~17:00(土日休日除く)
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。
 公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 公告掲載URL (<https://www.nittoseiko.co.jp/>)

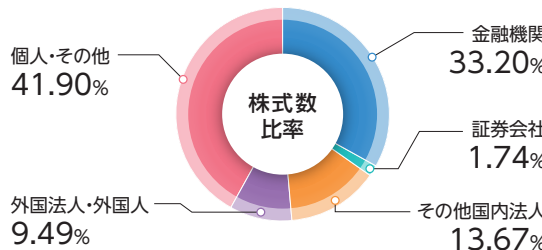
株式の状況

発行可能株式総数 98,800,000株
 発行済株式の総数 39,985,017株
 株主数 7,747名
 大株主

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,774(千株)	10.13(%)
日東精工協会	3,531	9.47
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,695	7.23
株式会社京都銀行	1,855	4.98
株式会社三菱UFJ銀行	1,347	3.61
三井住友信託銀行株式会社	945	2.53
日東精工従業員持株会	939	2.52
日本生命保険相互会社	619	1.66
第一生命保険株式会社	600	1.61
オリップ株式会社	600	1.61
株式会社ユニタス	600	1.61

(注) 1. 持株数の千株未満は切り捨てております。
 2. 自己株式2,733千株を除いて計算しております。

所有者別株式分布状況



住所変更、単元未満株式の
買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

当社では、ホームページにて企業情報を随時開示しております。製品情報、新着情報等のほか、IR情報ページでは、決算短信等を掲載しております。
 また、サステナビリティページでは統合レポートも掲載しております。



<https://www.nittoseiko.co.jp/>

